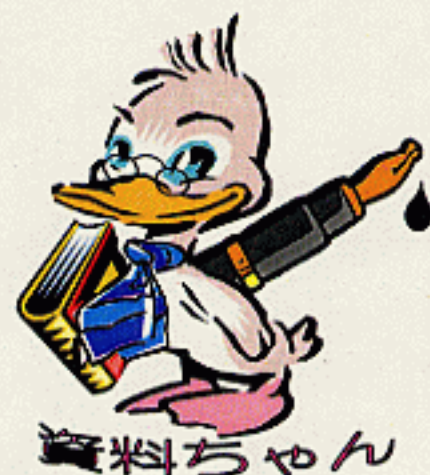


資料室 ニュース Vol. 12

2003年9月27日発行

今月の資料ちゃんからのお知らせ

秋はたくさんの台風がやって来る季節だね。
あなたのお家にあぶないところはないか
特集を見て確かめてね！



～ 風水害に備えましょう！ ～

台風や低気圧、また全線に伴う暴風や大雨によって引き起こされる災害のことを「風水害」とよんでいます。夏の終わりから秋にかけては台風が日本列島へ接近・上陸することが多い時期です。今年はずでに日本各地で集中豪雨に伴う水害が多発していますが、風水害が多いこれからの季節に私たちはどのようなことに気をつければよいのでしょうか？

① あなたのお家は大丈夫ですか？

まずは家やその周囲の点検をしておきましょう。
修理や補強が必要な箇所はありませんか？
強風による飛来物対策はできていますか？

●窓ガラスにひび割れはありませんか。
窓枠はガタついていませんか。

●屋根の瓦にひびや割れ、はがれはありませんか。
●トタンのズレやめくれはありませんか。

●雨どいにホコリや落ち葉
など雨水の流れを妨げる
ようなものはつまっていますか。

●ベランダや窓際に植木鉢や
物干し竿など飛散の危険性の
あるものは置いていませんか。

●ブロック塀やモルタルの
壁に亀裂やいたんだとこ
ろはありませんか。

●自分の家の周りに強風で飛ん
できそうなものはありますか？



② 風雨の強さとその影響を知っておきましょう

台風と梅雨前線にともなう大雨の約70%が災害を引き起こすといわれています。地震とはちがい台風などの風水害は比較的予報がしやすいため、早いうちから正確な情報を入手することで身を守ることができます。テレビやラジオでよく耳にする言葉でも案外知らないことが多いものです。どれくらいの強さのことなのか正確に把握しておきましょう。

平均風速(毎秒)	予報用語	影響
10m~15m	やや強い風	風に向かって歩きにくい。看板やタン屋根が飛ぶ。
15m~20m	強い風	歩くことができない。高速道路での運転は困難。
20m~25m	非常に強い風 (暴風)	しっかり身体を確保しないと転ぶ。車の運転は危険。
25m~30m		立ってられない。樹木が倒れ、ブロック塀が壊れる。
30m以上	猛烈な雨	屋根が飛ばされたり、木造住宅が全壊したりする。

(気象庁資料より作成)

1時間の雨量	予報用語	影響
10mm~20mm	やや強い雨	地面一面に水たまりができる。長く降り続くと危険。
20mm~30mm	強い雨	カサをさしていてもぬれる。下水や小さな川があふれる。
30mm~50mm	激しい雨	車のブレーキがきかないことがある。土砂災害がおきやすくなる。
50mm~80mm	非常に激しい雨	カサは役に立たない。車の運転は危険。地下に雨水が流れこむ。
80mm以上	猛烈な雨	雨による大規模な災害の発生する恐れが強い。

(気象庁資料より作成)



注意報とは…

災害発生の可能性があることを伝え、特定の地域に注意をうながします。

警報とは…

重大な災害が発生する恐れがあることを知らせます。避難準備をすすめるものです。

暴風警報とは…

地域によって基準は違いますが、最大風速が25m/s前後かそれ以上が予想される時に発令されます。この場合、降雨量とは関係なく発令されます。

大雨警報とは…

地域により基準は違いますが、1時間雨量50mm前後、3時間雨量80mm前後、1日雨量150mm前後のいずれかに達した時に発令されます。



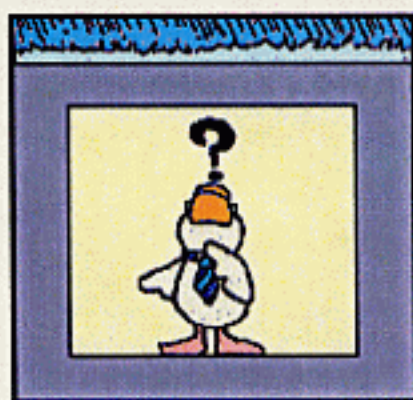
③ 地下が危ない！

近年の市街地は地下鉄、地下街、ビルの地下施設などの充実で非常に便利になっていますが、その一方で水害の危険性が高まっているのも事実です。地下室では外の様子がわかりません。あっという間に浸水し、停電したり水圧でドアが開かなくなったりと気づいた頃には重大事になっていることが多いのです。このような浸水被害はわが国にとって決してめずらしいものではなく、平成10年の1年間だけでも8件を数えます。洪水時には一刻も早く地下室から避難するよう心がけましょう。



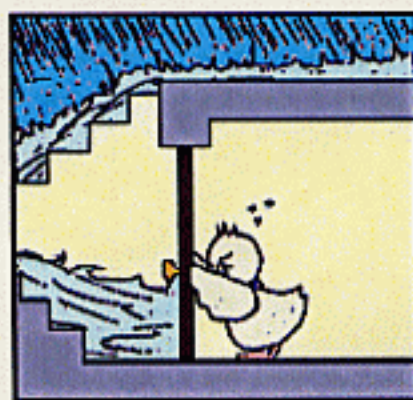
その1

地上に水があふれると一度に水が流れ込んできます。



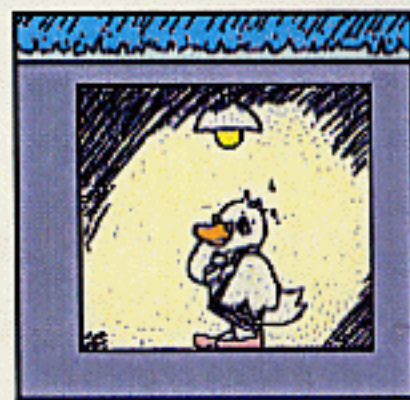
その2

地下室では外の様子はわかりません。



その3

水圧でドアは開きません。



その4

浸水すると停電になります。

・ 河田恵昭 監修、「都市と水害」、神戸、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター、2003 ; 「わが家の防災手帳 すもと」、洲本市 ; <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/chikashitsu/sinsuipanfl.pdf> 参照

おしらせ！

「夏休み子ども防災ワークショップ2003実施報告」壁面展示開催中！

2003年9月12日～2003年11月11日

人と防災未来センターの防災未来館2階資料室にて、「夏休み子ども防災ワークショップ2003」の結果報告が展示されています。今年は、「じしんがきたらどうしよう?! -子どもサバイバル-」(2003年8月12日)および「ペットボトルで簡単液状化実験」(2003年8月21日)の2つのプログラムが実施されました。参加者たちが作成した「壁新聞」をはじめ、ダンボールで作る簡易トイレの実物見本や作り方などの説明もあり、子どもたちが生き生きと学んだ様子が伝わってくる内容となっています。

